

## 教育委員会事務の点検・評価について

### 1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、教育委員会は、効果的な教育行政の推進と、市民への説明責任を果たすために、教育委員会事務の点検・評価を行い、その結果に関する報告書を公表することが義務付けられており、本市においても、平成27年3月に策定した「草津市教育振興基本計画（第2期）」の進捗状況の確認を行うことも兼ねて、計画の施策体系に沿った点検・評価を実施しました。

今年度の点検・評価にあたっては、昨年度に引き続き、事業ごとに設定した評価項目に対する実績値および目標達成度ならびに過去の外部評価委員会等の意見に対する対応の状況を中心に、草津市教育委員会事務外部評価委員会委員の意見、助言等をいただきながら、点検・評価を実施しました。

### 2 点検・評価の対象

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に規定する教育委員会の権限に属する事務および市長から補助執行を受け教育委員会において実際に管理・執行している事務を点検・評価の対象とし、「草津市教育振興基本計画（第2期）」の「施策の基本方向」として位置づけた、9つの目標と40施策について、点検・評価を実施しました。

[教育委員会の権限に属する事務のうち市長部局の職員が補助執行している事務や、市長部局に移管した事務は点検・評価の対象としていません]

### 3 点検・評価の方法および評価指標

#### ① 点検評価の方法について

「草津市教育振興基本計画(第2期)」に掲げた施策の進捗状況を管理するため、40施策の具体目標ごとに評価項目を定め、最終年度に到達すべき目標値と年度ごとの目標値を設定し、実績に基づく目標達成度により評価を行いました。

#### ② 目標達成度の概要について

令和元年度の事業については、設定した評価項目の目標値に対して、目標達成度が75%を上回る評価項目は73あり、全体の約83.9%を占めています。

反対に目標達成度が75%未満の項目は12あります。目標達成度が75%未満の項目と原因、今後の取組等については、4ページおよび5ページのとおりです。

○R1 目標達成度の状況

目標達成度	評価項目数	割合
100%以上	42	48.3%
75%以上 100%未満	31	35.6%
50%以上 75%未満	11	12.6%
50%未満	1	1.1%
計	85	100.0%

○目標達成度の推移

目標達成度	H27	H28	H29	H30	R1
100%以上	43.9%	48.8%	54.0%	51.7%	48.3%
75%以上 100%未満	52.4%	45.2%	39.1%	34.5%	35.6%
50%以上 75%未満	3.7%	4.8%	6.9%	11.5%	12.6%
50%未満	0.0%	1.2%	0.0%	2.3%	1.1%

#### 4 草津市教育委員会事務外部評価委員会

点検・評価の客観性を確保するため外部評価委員会を開催し、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々より意見や助言をいただき、その意見等を各評価シートに記載しました。

今年度は、下記の方々に外部評価をお願いしました。

教育委員会事務外部評価委員

糸乗 前 (滋賀大学教授)  
 片山 善久 (元公立小学校校長)  
 早田 リツ子 (公募委員)

① 第1回、第2回外部評価委員会 (8月4日・8月24日)

2日間にわたって外部評価委員会を開催し、点検・評価報告書の全シートについて外部評価委員より意見や助言をいただきました。

② 外部評価委員の主な意見、評価

令和元年度教育委員会事務に対する主な意見として、

- ・ 道徳教育・人権教育について、「全教育課程の中で、道徳・人権教育を推進してもらいたい。また、新たな人権課題に対する学習も進めてもらいたい。」
- ・ I C T支援員の配置について、「草津市が I C Tを活用した教育をここまで進めてこられたのは、I C T支援員の存在が大きい。G I G Aスクール構想に向けて、さらに進めていく上でより重要な存在だと思う。」
- ・ スポーツについて、「プロスポーツ選手を見ることや、話を聞くことで、子どもが夢や憧れを持つので、今後も出会える機会づくりをしてほしい。」

など、全体を通して、概ね前向きな評価をいただきながら、今後に向けた意見や助言をいただきました。

③ 9月定例教育委員会での付議（9月30日開催）

内部点検および外部評価委員会に基づき、教育委員会事務の点検・評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告および公表することについて、9月30日開催の9月定例教育委員会に議案として提出いたします。

目標達成度が75%を下回った事業の一覧

施策	達成度	事業名	評価項目	原因	今後の取組	特記事項
3 (P13)	55.8% 【目標】20,000人 【実績】11,169人	子どもと大人の地域交流活動の支援	地域で実施される地域協働合校事業に参加した大人および小中学生の人数	大規模交流イベントの減少により参加人数の増加が望めず、行事の形態が、教科に直決した体験学習にシフトしていることから、大人の参加者数も減少している。	より教育に繋がる活動を推進し、体験学習の質の向上を図る。	指標設定時と比べて事業の規模や内容等が大幅に変化しているため、単純に経年比較することが困難になっている。
9 (P27)	57.8%(小中単純平均) 小30.8%、中84.7% 【目標】 小0.40%、中2.88% 【実績】 小1.30%、中3.40%	グレードアップ連絡会	不登校児童生徒在籍率(小中学校別)	児童生徒を取り巻く環境の多様化が一層進み、学校での集団生活に適応しにくい子どもが増えたため。	個々への支援とともに、学級経営や授業づくりの見直しも必要である。また、引き継ぎや連携にも重点をおいて取組を進めていく。	
11 (P31)	8.4% 【目標】450人 【実績】38人	青少年の地域活動への参加	青少年リーダー養成講座等に参加した人数	市子ども会指導者連絡協議会の活動が休止状態となり、主催されていた養成講座が開催されなかったため。	子どもに関係する団体と連携を取りながら、改善策を検討していく。	青少年健全育成については、令和元年度より、子ども未来部に所管替えとなっている。(教育委員会としては、活動に対する補助金の交付のみ残っていた)
25 (P65)	56.7% 【目標】1,400人 【実績】794人	地域ボランティアによる学校支援の推進	学校支援参加者平均延べ人数	以前は、支援参加者の実数把握ができず、見学者も含めた数値となっていたが、コーディネーター配置により実数把握が可能となったことから、目標値と実績が乖離する状況となっている。	より教育に繋がる活動を推進し、体験学習の質の向上を図るとともに学生ボランティアの活用なども検討する必要がある。	施策3と同
29 (P73)	62.9% 【目標】240,000回 【実績】150,898回	教育行政情報の積極的な発信	教育委員会ホームページへのアクセス数	市のホームページのリニューアルに伴い、利便性の向上と引き換えに、集計対象であるトップページのアクセス数が減少したものの。	ホームページの掲載内容の充実や更新頻度を高めるとともに、探しやすく見やすくするような工夫を図っていく。	

施策	達成度	事業名	評価項目	原因	今後の取組	特記事項
31 (P79)	72.0% 【目標】80.0% 【実績】57.6%	図書館運営事業・南草津図書館運営事業	利用者アンケートによる総合満足度(満足・やや満足)	利用者アンケートの項目に「普通」を追加した結果、「満足」・「やや満足」から「普通」に回答が分散されたため。	引き続き、利用者の声を生かした運営に努めていく。	図書館協議会での意見を踏まえ、アンケートの手法を変更したことにより数値が変動したもの。
35 (P87)	74.1% 【目標】1,000人 【実績】741人	各種スポーツ大会等の充実	市民スポーツ・レクリエーション祭の参加者数	体育振興会連絡協議会の協議において、天候や熱中症対策を考慮し、YMITアリーナの屋内競技のみの開催としたため。	YMITアリーナでのイベントとしては、適切な動員規模であるので、引き続き全学区の協力を得ながら取り組む。	
35 (P88)	71.4% 【目標】7クラブ 【実績】5クラブ	地域スポーツクラブ設立の支援	地域スポーツクラブ設立数	新たな地域スポーツクラブの設立については、各地域における担い手確保が必要であるため。	地域スポーツクラブが設立していない地域に働きかけを行うとともに、既存クラブについて持続可能な運営ができるよう連携を図っていく。	
36 (P91)	64.3% 【目標】90点 【実績】57.8点	草津市スポーツ協会等活動支援事業	県民体育大会の点数(総得点数)	目標を設定した年度と比べて、上位に入賞する競技が減少し、全体の点数が低調になっているため。	草津市スポーツ協会を中心として、競技力の向上や参加種目の増加等、目標達成に向け支援を行う。	
36 (P91)	62.5% 【目標】8回 【実績】5回	プロスポーツ団体等支援事業	MIOびわこ滋賀夢先生事業の実施回数	新型コロナウイルス感染症の影響により授業が中止となるなど実施回数が減少したため。	引き続き、学校での夢先生授業や地域でのサッカー教室等を通じて、児童の健全育成や地域住民等との交流機会の創出に向け取り組んでいく。	
40 (P99)	62.9% 【目標】2,000人 【実績】1,257人	文化・芸術活動の育成支援と各種事業の充実	市美術展覧会の観覧者数(人)	文化・芸術の多様化が進むとともに、愛好者の高齢化・固定化が進んでいることから観覧者が減少している。	文化振興審議会・美術展覧会実行委員会において、部門や賞の新設など、より魅力的な展覧会に向けて検討する。	
41 (P101)	56.7% 【目標】1,400人 【実績】794人	地域ボランティアによる学校支援の推進【再掲(施策25)】	学校支援参加者平均延べ人数	再掲(施策25参照)		